

## 平成24年度事業計画

### 1. 基本方針

- 日本の経済は依然としてデフレ状態が続くとともに、ギリシャに端を発したヨーロッパの経済危機により円高が一段と進んでおり、日本経済の先行きは大変不透明な厳しい状況が続いている。この景気低迷のあおりを受け、シルバー人材センターの運営は厳しくなることが予想される。
- 「福祉の受け手」から「社会の担い手」として、元気に生き生きと活動することにより自ら培った知識や経験、ノウハウなどを活かして地域の産業や社会の活性化に貢献していく。
- シルバー事業をますます発展させるため会員と役職員が一丸となり、就業機会の確保や財政健全化に向けた取り組みをより一層強化し、「助け合いながら共に働く」共働・共助の精神で会員相互の連帯意識を高揚し、会員がいつまでも元気で活躍できるようシルバー人材センターとしての役割を果たしていく。
- 群馬県シルバー人材センター連合会の安全・適正就業委員会で設定した「安全・適正就業作業ガイドライン」を実施し、事故防止に向けたより一層の取り組みを推進していく。
- 町村合併から6年が経過し、社団法人みどり市シルバー人材センターとして市民に定着してきているが、公益法人制度改革に伴い平成24年4月1日からは群馬県の認定を受け公益社団法人みどり市シルバー人材センターとして新たにスタートし、より公益性の高い団体として市民の期待に応えていく。
- 平成23年度で社団法人みどり市シルバー人材センターの「中・長期計画」が終了するのに伴い、平成24年度より公益社団法人みどり市シルバー人材センター「第2次 中・長期計画」を策定し、地域に密着した事業運営体制を確立させ、シルバー事業の活性化を推進する。
- 中・長期計画は策定後リーマンショックやデフレ、円高さらには東日本大震災等により日本経済は大変厳しい状況が続いており、近年は達成することができない現状となっている。

平成24年度を初年度として策定する第2次中・長期計画は、各目標値を見直した結果、初年度の目標値は前年度を下回る策定とした。

## 2. 事業目標

事業目標を次のとおり設定し、計画的に事業を推進する。

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1) 会員数    | 360人      |
| (2) 粗入会率   | 2.3%      |
| (3) 就業率    | 86.0%     |
| (4) 就業延べ人員 | 38,000人   |
| (5) 契約金額   | 168,000千円 |

## 3. 事業計画

### (1) 就業機会の拡充と就業率の向上

会員・役職員による一般家庭等への受注の働きかけを積極的に行い、新規受注開拓を図り、会員に適した就業機会を確保し、的確な提供を行う。

### (2) 啓発活動の強化

当センターを理解してもらうためチラシの配布やホームページを活用した情報提供等の啓発活動を強化して、就業機会の確保・拡大につなげていく。

また、会員には毎月発行の「事務局だより」に情報を掲載し、常に全会員が情報を共有できるようにする。

### (3) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業委員会を定期的を開催し、事故撲滅のための検証を行う。また、委員と職員による就業現場の巡回指導を強化し、会員の自覚と責任を啓発するために安全・適正就業強化月間や安全・適正就業の日を設け、安全就業の徹底を図る。

さらに、「安全・適正就業作業ガイドライン」の実施により、安全保護具の着用を義務づけ、遵守できない会員に対しては一定のペナルティを科す等着用の徹底を図る。

### (4) 健康管理意識の高揚

市が実施する各種検診を受診するよう働きかけるとともに、親睦会行事の「ゴルフ」や「グランドゴルフ」等サークル活動への積極的参加を推進するなど、自己管理意識の高揚を図る。また、会員がインフルエンザ予防接種を受け易いように今年度も当センター内で集団予防接種を実施する。

### (5) 会員の拡大

健康で働く意欲のある高齢者の入会を促進するために、会員や役職員の口コミによる勧誘活動を積極的に行うとともに、親睦会の活動を通じて啓発・勧誘を実施する。

(6) 会員の技術向上と新規技能者の養成

職種転換・新入会員に対し、自主研修や実技研修を行い、技術向上・新規技能者の養成に努める。

(7) シルバーカルチャー教室の開室

会員の専門知識を生かし、楽しく学んで趣味の世界を広げるため、独自事業「シルバーカルチャー教室」を随時開催する。

(8) シニアワークプログラム「就農支援講習」への取り組み

昨年2回にわたって開催した委任事業「就農支援講習」が好評だったため、今年度も夏野菜と冬野菜作りの実習を交えた講習に取り組む。

(9) 交通事故防止対策の実施

会員の就業中や就業途上はもとより、日常生活における交通事故を未然に防ぐため、今年度も「高齢者しあわせドライブ100」事業への参加や、事故防止のために黄色いウインドブレーカーの着用を推進して、事故防止の意識を高める。

(10) 桐生市シルバー人材センターとの交流

隣接する桐生市シルバー人材センターと積極的な情報交換を行い、交流を深める。

また、両互助会組織の交流行事を支援していく。

(11) 社会奉仕活動の推進

10月のシルバーの日に、岩宿博物館、阿左美沼周辺、赤城駅、袈裟丸山登山口等の植え込みの手入れや清掃奉仕活動を実施するなど、積極的に社会奉仕活動を行う。